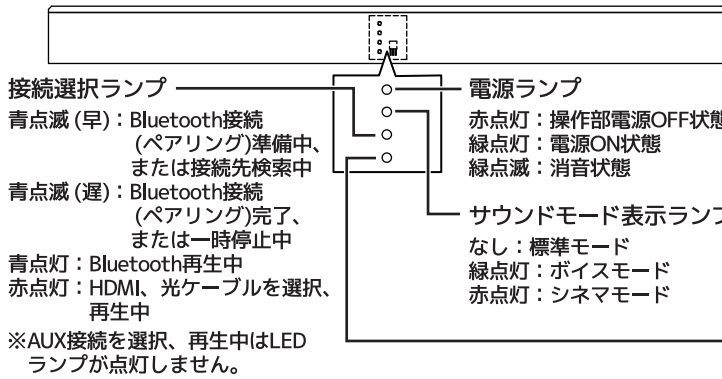
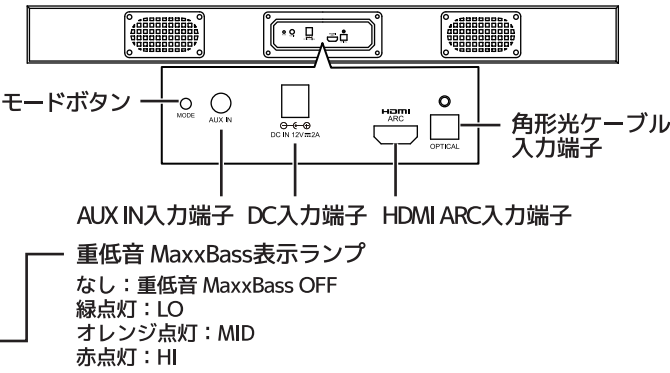


各部の名称

本体正面



本体背面



使い方

1. スピーカーを設置する

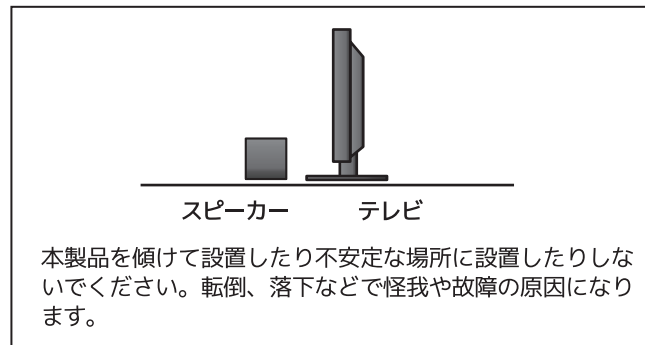
設置場所について

次のような場所に設置することは避けてください。

- 揺れが多い、または揺れが激しい場所
- 水回りなどの湿度が高い場所
- 直射日光に当たるなどの高温になりやすい場所、また可燃物が近い場所
- 他のワイヤレス機器の近くや金属製のキャビネットなどの中

次のような特殊な信号はスピーカーにダメージを与えますので、ご注意ください。

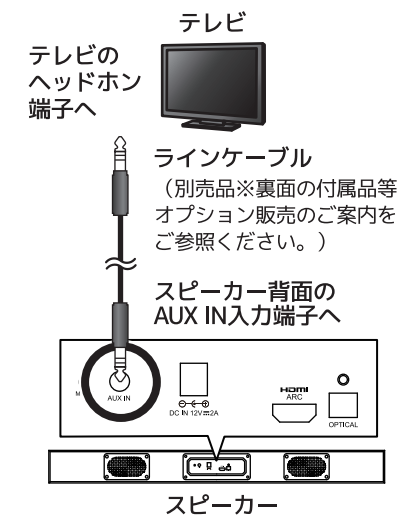
- オーディオチェック用CDなどの信号音
- 電源を切らずに接続端子を抜き差しすると発生するショック音
- マイクなどによるハウリング



2. テレビとスピーカーをつなぐ

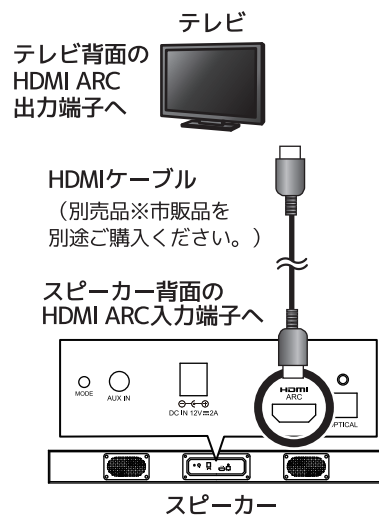
※テレビとスピーカーの主電源が必ずオフの状態でご確認ください。

1 テレビのヘッドホン端子につなぐ



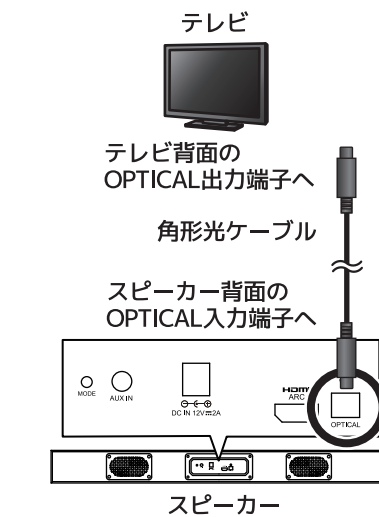
■ テレビ側の「音声出力設定」を変更しないと、音声が出されない場合があります。詳しくはテレビに付属の取扱説明書をご確認ください。

2 HDMI ARC出力端子につなぐ



※市販のケーブルをご利用の際は**HDMI ARCに対応したHDMIケーブル(HDMIバージョン1.4以降)**をご使用ください。
※HDMIケーブルは付属しておりませんのでご注意ください。

3 OPTICAL (角形光ケーブル) 出力端子につなぐ



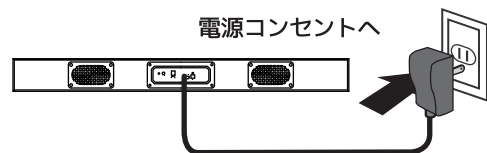
<ご注意>
初めてご使用の際は角形光ケーブルの両方の先端に保護キャップがはめ込んでありますので、取り外してご使用ください。

※光ケーブルの挿す向きに注意してください。間違った方向で無理に挿すと端子やケーブルが破損する可能性があります。

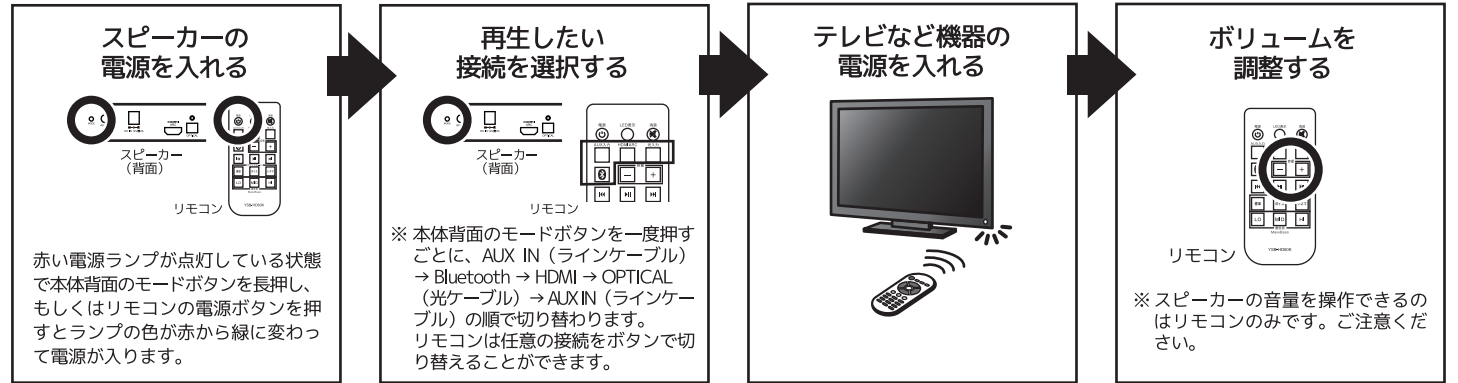
4 スピーカーを電源につなぐ

スピーカーのACアダプターを本体DC入力端子とご家庭のコンセントにつなぎます。

<ご注意> 本製品を長期間使用しない場合は、ACアダプターを抜いてください。



3. スピーカーで音声を聞く



※自動電源OFFについて
電源ONの状態(電源ランプが緑色)で下記の場合、自動的に電源OFFとなります。
Bluetoothモードで20分以上接続されていない時
AUX、HDMI、OPTICAL(角形光端子)接続の場合は自動的にOFFになりません。

※電源スイッチを操作する際、ノイズが発生することがありますが製品の不具合ではありませんのでご了承ください。
<注意> 音の歪みが気になる場合は、接続した機器とスピーカーの音量を調節して適正なレベルに調整してください。

HDMI CEC機能(CECリンク機能、HDMIコントロール機能)
本機はHDMI CEC機能に対応しています。HDMIケーブルで接続したテレビのリモコンで電源のオンオフ、音量の上げ下げを連動して操作することが可能となります。その他の機能に関しては連動できませんのでご注意ください。
以下の通りテレビの設定が正しくできているかご確認ください。
<テレビ設定の例>
「リンク設定」→「HDMI機器設定」→「スピーカー選択」などの項目からテレビの音声出力設定を外部スピーカー(例)に設定し内蔵スピーカー以外に切り替えてご使用ください。

テレビの設定をしてもテレビのリモコンで操作できない場合は本機とテレビの電源を一度オフにしてからオンにして、再度テレビの設定を行ってください。
※ご注意
HDMI CEC機能に対応しているテレビでも、一部機能が操作できないものやHDMI CEC機能を使用できない場合があります。また、スマートテレビについては電源の連動が正常に働かないことがありますが、本機の故障ではありませんので予めご了承ください。詳しくはテレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

4. 各種設定(リモコンでの操作方法)

初めてご使用の際は、リモコン下部の電池トレイ部分に差し込まれている絶縁シートを取り外してください。

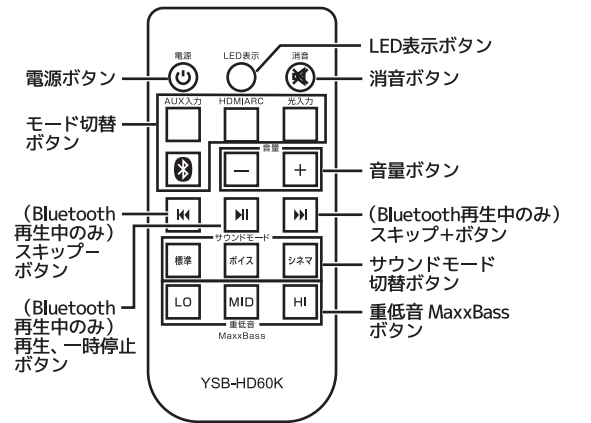
- LED表示ON・OFF**
LEDランプが点灯している状態でLED表示ボタンを押すとLEDランプが消えます。もう一度押すとLEDランプが点灯します。
- 消音機能(ミュート)**
消音ボタンを押すと、スピーカーからの音を消す(ミュートにする)ことができます。もう一度押すと再びスピーカーから音が出ます。
- 音量調節**
リモコンにある音量ボタンでスピーカーから出る音量を調節できます。お好みの音量に調整してお楽しみください。
※音量が最大、最小になった時、電源ランプが数回点滅してお知らせします。
- サウンドモード切替**
特定の音声を聞きやすくするモードです。
標準: 標準的な音声を出します。
ボイス: ニュースや実況など、人の話し声をクリアに聞きやすくするモードです。
シネマ: 映画やライブ音声など、迫力あるサウンドを聞くことに適したモードです。
- 重低音 MaxxBass**
重低音を強めてスピーカーから再生することができます。LO → MID → HIの順に重低音を強めることができます。同じボタンを再度押すことによって解除することができます。

5. Bluetoothを使った接続

Bluetoothを利用して音楽を再生することができます。ここでの説明はBluetooth対応スマートフォンの接続例です。各メーカーや機種によって操作、表示が異なる場合がありますので接続する機器の取扱説明書と合わせてご確認ください。

- 接続する前に
- 接続設定は本製品と機器を1m以内の距離で行ってください。
 - 電波の到達距離は最大約10mです。(使用環境で変化します。)
 - 本製品が登録できるBluetooth製品は最大6個です。最大に達した後、さらに登録を行うと古い登録から上書きされます。
 - 自動接続は最後に登録した機器のみ適応されます。

- リモコンのBluetoothボタン、または本体のモードボタンを数度押し、Bluetoothモードに切り替えます。※Bluetoothモードになると青いLEDランプが点灯します。
- スピーカー正面にある青のLEDランプが早い点滅を開始してから、スマートフォンのBluetoothをオンにします。
- スマートフォンに表示された「YSB-HD60K」を選択します。
※機種によっては接続に掛かる時間が2、3分必要になる場合がありますのでご注意ください。
- 「接続が完了しました」等の表示が出たら設定完了です。接続するとチャイム音が短く鳴り、スピーカーの青いLEDランプがゆっくりとした点滅に変わります。
- 接続したスマートフォンで音楽を再生すると本機のスピーカーから再生されます。
- 付属のリモコンでも再生・一時停止、スキップ+・-が操作できます。スキップボタンで次の曲へ、スキップボタンを一回押すと現在再生・選択している曲の先頭へ、スキップボタンを二回押すか長押しすると一つ前の曲へジャンプします。
- Bluetoothの接続を切断する場合は、スピーカーの電源を切る、又はスマートフォンのBluetooth機能をOFFにしてください。
- 以前にスピーカーと他のBluetooth対応機器を接続したことがある場合、自動的に接続してしまう場合があります。その場合は以前接続した機器で一度接続を切ってから、再度接続を試してください。



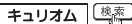


ワイヤレス シアターバー・スピーカー

YSB-HD60K

取扱説明書



(保証書付)

| |
|---|
|  |
| 商品に関するお問い合わせ |
| キュリオムサポートセンター |
|  0570-00-9106 |
| 受付時間： <p>月～金 午前10時～午後5時30分 (土・日・祝祭日・年末年始を除く)</p> ※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。 |
| メールでのお問い合わせ： <p>E-mail：support@qriom.com</p> ホームページ：  |


安全上のご注意


※ご使用の前に、「安全上のご注意」と「取扱説明書」の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすることで想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。










| | | |
|---|-----------|--|
|  | 警告 | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  | 注意 | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物の損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |







絵の表示の例

 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。


















※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

|  警告 |
|---|
|  修理技術者以外の人は、分解、修理、改造をしない。 <ul style="list-style-type: none">●火災・感電・けがの原因となります。 |
|  自動車内での使用はしない。また自動車内に放置しない。 <ul style="list-style-type: none">●本体の変形・故障の原因となります。 |
|  不安定な場所や傾いたところでは使用しない。 <ul style="list-style-type: none">●落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。 |
|  水につけたり、水をかけたりしない。 <ul style="list-style-type: none">●ショート・感電の恐れがあります。 |
|  開口部やすき間から異物を入れない。 <ul style="list-style-type: none">●火災・感電の恐れがあります。 |
|  電が鳴り出したら本体に触れない。 <ul style="list-style-type: none">●感電やけがの恐れがあります。 |
|  本製品から煙が出たり、異臭、異音などの異常を感じたりしたら、すぐに使用を中止してください。 <ul style="list-style-type: none">●そのまま継続して使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。 |
|  本製品の発熱をさまたげない場所に設置してください。 <ul style="list-style-type: none">●他の機器、壁等から間隔をとって設置してください。ラックなどに入れる場合はすき間を空け、通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因になります。 |
|  電源コードを傷つけないでください。 <ul style="list-style-type: none">●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。電源コードや電源プラグが傷んだ状態（芯線の露出、断線、変形など）で使用すると、火災・感電の原因になります。 |
|  表示された電源・電圧（交流100ボルト）以外で使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none">●表示された電源・電圧以外で使用すると、火災・感電の原因になります。本製品を使用できるのは日本国内のみです。 |
|  電源プラグの清掃を定期的に行ってください。 <ul style="list-style-type: none">●電源プラグにほこりなどがたまっていくと、火災の原因になります。電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。 |
|  濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 <ul style="list-style-type: none">●感電・故障の原因となります。 |
|  濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 <ul style="list-style-type: none">●感電・故障の原因となります。 |
|  電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。 <ul style="list-style-type: none">●差し込みが不完全だと、発熱したりほこりが付着して火災の原因になります。電源プラグを根元まで差し込んでみゆるみがあるコンセントは使用しないでください。 |
|  電源プラグは抜きやすい位置にあるコンセントに差し込んでください。 <ul style="list-style-type: none">●万一の場合に備えて、電源プラグはよく見えて容易に引き抜ける位置にあるコンセントに接続してください。 |

|  警告 |
|--|
|  電源コードの上に重い物を載せたり、本製品の下敷きにしたりしないでください。 <ul style="list-style-type: none">●コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。 |
|  本書で指定している以外の電池を使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none">●火災やけがの原因になることがあります。 |
|  病院内や航空機の中などでは使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none">●電波が特定の医療機器や航空機の計器類などに影響を及ぼし誤作動による事故の原因になります。 |
|  心臓ペースメーカーを装着しているときは、本機を使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none">●電波がペースメーカーに影響を与え、誤作動の原因になります。 |
|  他の機器に電波障害などの影響が発生したときは、使用を中止してください。 <ul style="list-style-type: none">●ラジオやテレビの近くで使用するとノイズを与えます。また近くにモーターなどの装置があると、誤作動による事故の原因になります。 |

|  注意 |
|---|
|  高温、多湿、ほこりの多い場所に置かないでください。 <ul style="list-style-type: none">●窓際や車中など直射日光のある場所、ストーブのような暖房器具の近くなど高温になる場所、調理台や加湿器の近くなど油煙や湿気のある場所、またほこりの多い場所に放置すると火災・感電の原因になることがあります。 |
|  音が歪んだ状態で長時間使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none">●スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。 |
|  機器に接続するときは、機器の音量設定を最小にしてください。 <ul style="list-style-type: none">●始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。 |
|  お手入れをするとき、長時間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。 <ul style="list-style-type: none">●安全のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。電池を取り付けている場合は電池を抜いてください。 |
|  電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。 <ul style="list-style-type: none">●コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。 |
|  移動させるときは、電源プラグや接続したコードをはずしてください。 <ul style="list-style-type: none">●コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。また、接続機器が落下したり転倒したりして、けがの原因になることがあります。 |
|  ブラウン管を使用したディスプレイから離して設置してください。 <ul style="list-style-type: none">●スピーカーの磁気により映像に色むらが発生することがあります。 |
|  梱包袋は安全な場所に保管してください。 <ul style="list-style-type: none">●製品を梱包していた袋は、お子様の手の届かない安全な場所に保管してください。窒息などの事故の原因になることがあります。 |
|  スピーカー部分（特にコーン部）は繊細な部品ですので、手を触れないようにしてください。 <ul style="list-style-type: none">●破損や変形などの原因になります。 |
|  同梱品以外のACアダプターは使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none">●火災・感電の原因になることがあります。また、本製品のACアダプターを他の機器に使用することもおやめください。 |
|  時計やクレジットカードなど磁気の弱い物を本製品に近づけないようにご注意ください。 |

電池に関するご注意

| |
|--|
|  必ず+（プラス）と－（マイナス）を正しく挿入してください。 |
|  爆発及び破損の恐れがあるので、電池を分解したり熱を加えたりショートさせないでください。 |
|  長時間使用しないときは、電池を抜いて保管してください。抜かない場合、液漏れの原因となります。 |
|  万一、液が体についたときは傷害を起こす可能性があります。すぐにきれいな水で洗い流してください。また、液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い応急処置をした後、ただちに医師の治療を受けてください。 |
|  電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。 |
|  指定された種類の電池を使用してください。 |
|  直射日光のある場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所での使用・放置しないでください。液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・火傷・けがの原因になります。 |
|  直接半田付けしたり、変形・改造・分解をしないでください。 |
|  +(プラス)と-(マイナス)端子を接続しないでください。発熱や感電・火災の原因になります。 |
|  電池を持ち運んだり、保管する際は必ずケースに入れて、端子部分を保護してください。キーホルダーなどの貴金属と一緒に、携帯・保管しないでください。発熱や感電・火災の原因になります。 |
|  電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。 |
|  使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自自治体の指示にしたがって廃棄してください。 |
|  万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、①けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。②お買い上げ店またはキュリオムサポートセンターへお問い合わせください。放置すると火災や火傷の原因になります。 |
|  水や海水につけたり、端子部を濡らさないでください。 |
|  液漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合、使用を中止してください。 |
|  火気のある場所に電池を置かないでください。 |
|  電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。 |

故障かな・・・?と思ったら

故障かな・・・?とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に次の点をお調べください。

| 音が出ない |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">●機器が正しく接続されていますか？ <ul style="list-style-type: none">▶裏面「使い方」にしたがって接続を確認してください。 ▶電源コード、接続端子が奥まで差し込まれているか確認してください。 ▶スピーカー本体の背面にあるモードボタン、もしくは付属のリモコンを使用して、再生したい機器と接続したモードを選択してください ▶Bluetoothで接続できなかった場合、一度スピーカーと接続を切り、他の機器と接続していないか接続設定を確認してください。 |

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">●音量は適当ですか？ <ul style="list-style-type: none">▶付属のリモコンを使って、音量の設定を大きくしてください。 ▶テレビなど機器側の設定が必要な場合があります。テレビなどに付属の取扱説明書をご確認ください。 ▶消音モードになっていないか確認してください。 |
|--|

使用できる電池について

本製品のリモコンでご使用になれる電池は以下の電池です。この電池以外をご使用にならないよう十分にご注意ください。

■コイン形リチウム電池 CR2025
（推奨：パナソニック、東芝、日立マクセル、SONY等の日本メーカーが生産している電池）

Bluetooth 機器について

●本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、本機に以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
・分解/改造すること
・本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
●本機は2.4GHzの周波数帯の電波を使用します。2.4GHz帯の電波は、他の無線機器も使用しています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に注意してご使用ください。

| |
|---|
| <p>本機の使用する周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要するもの）、特定小電力無線局（免許を要しないもの）およびアマチュア無線局（免許を要するもの）が運用されています。</p> <ul style="list-style-type: none">・本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。 ・万一、本機から他の無線局に対して電波干渉が発生した場合は、速やかに使用を中止してお客様相談室にご連絡いただき、混信回避のための処置等についてご相談ください。 ・その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例などが発生した場合などは、キュリオムサポートセンターまでご連絡ください。 |
|---|

●本機は電波を使用しているため、第三者が故意または偶然に傍受することが考えられます。●次の場所では電波干渉により、ノイズや音切れが発生する可能性があります。
・2.4GHz帯を使用する電子レンジ、無線LAN、デジタルコードレス電話、Bluetooth機器の周囲
・アンテナ入力端子を持つAV機器の周囲

| | | | | |
|---|---|---------------------------|---|---|
|  |  | 約 10m [※] |  |  |
| Bluetooth対応再生機 | | | スピーカー テレビ | |

※電波の到達距離は、周囲の環境により異なります。

製品仕様

| | |
|-----------------|---|
| スピーカー | パスレフ型 57mm x 2 (L/R) |
| アンプ実用最大出力 | 10W+10W (L/R) |
| 周波数特性 | 40Hz～18kHz |
| インピーダンス | 4Ω+4Ω |
| 消費電力 | 最大24W |
| 電 源 | ACアダプター12V 2A |
| 入出力端子 | HDMI ARC端子×1、角形光端子×1、AUX IN端子×1 |
| サウンドモード | 標準、ボイス、シネマ |
| MaxxBass (低音強調) | 3段階切替 |
| 本体サイズ | W650xD55xH67mm |
| 本体重量 | 約1.3Kg |
| 同 梱 品 | スピーカー、角形光ケーブル、ACアダプター、取扱説明書、リモコン（コイン形リチウム電池 CR2025付）（HDMIケーブル、ラインケーブルは付属しておりません。ご注意ください。） |

| | |
|-------------------|---------------------------------------|
| < Bluetooth > | |
| 登録番号 | YSB-HD60K |
| 規 格 | Bluetooth 4.1 |
| 対応コーデック | SBC/AAC |
| 使用周波数帯 | 2.4GHz帯 (2.402GHz～2.480GHz) |
| 変調方式 | FHSS |
| 伝送帯域(2ADP) | 20Hz～20000Hz |
| 伝送距離 | 約10m（金属製の遮蔽壁などでは著しく伝送距離が短くなる場合があります。） |
| 対応Bluetoothプロファイル | AVRCP1.0 A2DP1.0 |
| 伝送電力 | CLASS 2 最大4dB |
| Bluetooth機器の登録 | 6個 |
| 自動識別 | 最後に登録した1件 |

製品の仕様および外観は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

付属品等のオプション販売のご案内

下記の付属品を破損又は紛失した場合はお取り寄せとなりますので、各販売店にお問い合わせください。

| | 製 品 名 | 型 番 |
|---|----------------------------|---------|
| 1 | ワイヤレスシアターバー・スピーカー用 角形光ケーブル | YSB-OP1 |
| 2 | ワイヤレスシアターバー・スピーカー用 ラインケーブル | YSB-LN1 |
| 3 | ワイヤレスシアターバー・スピーカー用 ACアダプター | YSB-AC1 |
| 4 | ワイヤレスシアターバー・スピーカー用 リモコン | YSB-RC1 |

※ 価格につきましては、販売店にご確認ください。

※ 上記のオプション品は状況により手配できない場合がございますので、販売店にご確認ください。

免責事項

●本製品を運用したあらゆる結果のいかなる影響についても、弊社は一切の責任を負いません。
●本取扱説明書は株式会社山善が著作権を保有します。
●株式会社山善の著作物の一部または全部を無断で複製、転写、転載、改変することを禁止します。
●一般に会社名、製品名は各社の商標または商標登録です。
●本製品および本取扱説明書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。
●本製品および本取扱説明書などは、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
●本製品は日本国内でのみ使用されることを前提として開発・製造されています。
●本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関して日本国外での技術サポート、アフターサービスなどは行っておりません。あらかじめご了承ください。
●本取扱説明書と本製品の異なる部分がございましたら、本製品の仕様を優先させていただきます。
本書の内容につきましては、万全を期しましたが、ご不明な点や誤りなどございましたら、販売店もしくはキュリオムサポートセンターにご連絡ください。
また、上記に関わらず、以下の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。
①弊社の責任によらない製品の損傷、破損、または改造による故障や不具合
②本製品をお使いになって生じたデータの消失または破損
③本製品のために費やした時間、経費
④本製品に付随する、または運用の結果もたらされた損害
⑤本製品によりもたらされるべき、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常
※本書に乱丁、落丁があった場合はお取り替え致しますので、弊社までご連絡ください。

お手入れの仕方

<本体の清掃>

汚れは、ぬるま湯か台所用中性洗剤に浸した柔らかな布を固くしぼって拭き、さらに乾いた布で洗剤が残らないようお手入れをしてください。

<お願い>

●お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・化学ぞうきんなどは使用しないでください。破損・変質の原因となります。

アフターサービス

●この製品は保証書がついております。お買い上げの際に、販売店より必ず保証書の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
●保証期間はお買い上げ日より1年間です。詳細は保証書をご覧ください。
●この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">●アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載のキュリオムサポートセンターかお買い上げの販売店にお問い合わせください。 <p>キュリオムサポートセンター：  0570-00-9106</p> 受付時間：月～金 午前10時～午後5時30分（土・日・祝祭日・年末年始を除く） ※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。 メールでのお問い合わせ：E-mail：support@qriom.com ホームページ：  |
|---|

個人情報保護のお取り扱いについて

株式会社山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理義務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

保証書